

## 一般財団法人 明石コミュニティ創造協会 2021 年度事業報告書

### 総括

2021 年度も新型コロナウイルスの影響を大きく受けた 1 年でした。複合型交流拠点ウィズあかし（生涯学習センター・男女共同参画センター・市民活動支援センター、以下、「ウィズあかし」）の運営においては、貸室稼働率は 54.7% となり、2020 年度の 50.2% よりは伸びましたが、2019 年度の 65.7% と比較すると大きく減少となり、貸室利用料の収入は厳しい状況となりました。しかしながら、中学校コミュニティ・センター（以下、中学校コミセン）や高齢者大学の改革、校区まちづくり組織の支援のほか、後述する「ウィズフェス」の充実など、ソフト面で大きな動きのあった 1 年だったと言えます。

2019・2020 年度とモデル事業で進めてきた中学校コミセンの改革は 2021 年度から全 13 すべての中学校コミセンでの展開となりました。具体的にはすべての中学校コミセンにおいて、所長がエリアマネージャーとなり、地域における社会教育や生涯学習の拠点「学びのハブ」となるための活動が始まっています。その動きの一つが、今年度から始まった新たな高齢者学習の仕組み「あかねカレッジ ライトコース」です。今年度は 957 名の 60 歳以上の市民が登録、年間延べ 12,380 の講座を受けられ、充実したスタートを切ることができました。今後は、学びを様々な活動につなげていくコーディネートの機能充実が求められます。

ウィズあかしの運営については、これまでに蓄積された利用者との関係、市民講師とのネットワーク、専門家との協働等をみんなで作ることを強みとして、市内全域を対象とした学びの場づくりを進めました。12 月に開催した「ウィズフェス 2021 ウィズミーツ×みんなの学校×AKVC～SDGs でつながり、学ぶ～」では、今回は SDGs をテーマとすることで、様々なジャンルの団体が参加し、団体間のつながりやコラボも生まれました。今年度は、市民講師の発表の機会「みんなの学校」やあかねボランティアセンター（AKVC）とも合同で開催したことも大きな成果であったと言えます。また、この「みんなの学校」は野々池コミセンにおいて、地域バージョンとして展開させることができました。このように、少しずつウィズあかしと中学校コミセンとの連携も充実してきています。

校区まちづくり組織の支援も、コロナ禍で行事ができない今だからこそ組織の基盤強化を目指す地域が増え、既に協働のまちづくり推進組織に認定された校区も多くがまちづくり計画書の更新や組織体制の見直しに進みました。今年度はこれまで以上に支援する校区が増えた年でもあり、今後も支援校区が増えていくことが想定されることから、より効率化した支援のあり方が求められています。

最後に特筆すべきこととして、法人のブランディング確立に向けての議論を始めたことが挙げられます。改組から 10 年が経過し、事業も多角化してスタッフ数も増える中で、「我々は何者なのか」「コミ創らしさとは何か」を明らかにする必要性が出てきています。ブランディングについては、2022 年度が一般財団法人として設立 10 周年、初期の創設から考えると 40 周年の節目であることから、ビジョン・ミッション等の言葉やデザインへの見える化をし、次の 10 年につなげていきたいと考えています。

2021 年度の各事業の詳細は以下のとおりです。

## I. 協働のまちづくり推進事業-明石市委託事業 -

現在、校区まちづくり組織の拡充を始め、中コミ改革、分野型市民活動のアウトリーチなどを通じて市民が協働のまちづくりへの参加する間口は広がりつつある。一方で、関心を持つ市民が関われる制度や仕組みが追いついていないという新たな課題も見えてきている。特に、校区まちづくり組織においては、興味のある分野で参加できる「部会制」や個人単位の参加を促す「まちづくり委員」と、参加のハードルを下げる施策が広がりつつあるものの、まだまだ担い手の巻き込みを課題とする校区は少なくない。そこで、今年度はより一層、多様な市民が協働のまちづくりに関われる仕組みづくりに重点を置き取り組んだ。

支援した結果、これまでの「部会制」よりももっと柔軟に少人数で企画提案していく「チーム制度」に組織変更する校区が少しずつ生まれ始めるなど、校区まちづくり組織支援が新たな局面に入った1年であったと捉えている。

加えて、複数の中学校コミセンが地域総合支援センターと連携した講座を企画したり、エリアマネージャーが校区まちづくり組織との役割分担を意識した広報活動を模索したり、中学校コミセンを軸に分野や制度の垣根を超えた協働が大きく広がった。校区まちづくり組織においても、校区内の事業所や組合組織、各種団体と連携した事業を模索する動きが目立ちつつある。このような組織間の連携に加えて、前述のように多様な市民の参加を促す組織体制に変わるなかで、新たな活動づくりをサポートするコーディネーターの役割が改めて重要になりつつある。

### 1. 地域自治の支援事業

#### (1) 全体支援

今年度も新型コロナウイルスの流行に伴い、地縁型・分野型組織ともに活動を制限される場面が続く1年となった。一方で昨年とは異なり、コロナ禍での活動を模索したり、活動再開を見据えて組織の基盤整備を図るなどこれからの市民主体の活動のあり方を模索する動きが目立った。

その動きを後押しすべく、個別の相談や情報提供に加え、学び合いによる意識啓発や新たな取り組みを狙った勉強会を軸に支援を行った。

#### 1) 情報共有・情報発信（提供）

情報共有・情報発信においては、校区まちづくり組織役員・自治会長等を対象とした公式 LINE「明石のまちづくり」による参考事例の共有、まちナビ AKASHI を活用した校区まちづくり組織の情報発信支援を軸に取り組んだ。

#### 【実施内容】

##### ① LINE 公式アカウント「明石のまちづくり情報」での情報発信

配信期間	4月1日～3月31日
------	------------

配信件数／登録人数	42 件／165 人
-----------	------------

②まちナビ AKASHI 校区ページの活用支援(勉強会の開催)

勉強会	開催日時	概要	参加人数
まちナビ AKASHI 編集勉強会	6 月 15 日(火) 6 月 25 日(金) 13:30～15:30	① リニューアルした校区ページの基礎的な編集方法についてのレクチャー ② 広報活動に関する情報交換	27 名
まちナビ AKASHI 編集勉強会 中級編	8 月 24 日(火) 14:00～16:00	① LINE・Google 連携など拡張機能の使い方についてのレクチャー ② まちなびの活用事例の共有	18 名

※まちナビ AKASHI 校区ページの投稿数

4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
80 件 (13 校区)	147 件 (17 校区)	159 件 (14 校区)	110 件 (14 校区)

③明石市連合まちづくり協議会広報部会の運営支援

支援内容	内容
明石のまちづくり第 9 号 (11 月発行)	特集：「校区まちづくり組織とコミュニティ・スクール」 その他：朝霧校区まちづくり協議会取材
明石のまちづくり第 10 号 (3 月発行)	特集：「つながり、居場所、見守り」 その他：藤江校区まちづくり協議会取材

④その他

- ・情報誌 With に校区まちづくり組織紹介を掲載
- ・ウィズあかし内に 28 の校区まちづくり組織の情報紙配架ラックの設置
- ・まちナビ AKASHI のリニューアルによる活動情報の PR 強化

2) 相談・コーディネート

地域内やウィズあかしで活動する市民活動団体・市民講師の事例やネットワークを活用し、協働のまちづくりに関わる地域住民を増やすことを目指し、各種相談やコーディネートを実施した。

みんなの学校やウィズフェスにエリアマネージャーを繋いだことをきっかけに、中学校コミセンに対する市民講師のコーディネートが大きく数を伸ばした。中学校コミセンでの講座実施を経て他コミ

センから声がかかったり、サークル化を検討したりする講師がいるなど、分野型市民活動団体に対しても活動のステップアップを支援できた。

【取組内容】

件数	42 件
対応内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校コミセン、校区まちづくり組織等への市民講師のコーディネート</li> <li>・ 自治会など地域団体内のコミュニケーション促進に関する相談対応</li> <li>・ 地域内の交流機会づくりに関する相談対応・コーディネート など</li> </ul>

3) 活動支援・人材育成

校区まちづくり組織においては、交付金校区を中心に今後の組織と活動のあり方について、新たなステップや展望を持つことが求められている。そこで、特に校区まちづくり組織に関する「活動の拡充」「組織基盤の整備」を支援する勉強会に注力した。

【取組内容】

①勉強会の開催

勉強会名	開催日時	概要	参加人数
ZOOM 体験会	5 月 28 日(金) ～10 月 20 日(水) (全 6 回)	昨年までの参加者をサポートスタッフに招き、基礎的な使用方法からレクチャー	45 名
まちづくり事例上映会 小規模多機能自治に関する連続オンライン勉強会 【初夏の陣】	6 月 2 日(水) 15:00～17:30	活動やまちづくり計画の見直しを軸に他市地域づくり組織より事例紹介をオンライン上映した	13 名
会計勉強会	第 1 回 9 月 3 日(金) 第 2 回 9 月 17 日(金) 第 3 回 10 月 1 日(金) 14:00～16:30	任意団体である校区まちづくり組織の会計のポイントから、具体的な手続きの方法まで全 3 回でレクチャー 講師：NPO 会計支援センター 村上義弘氏	72 名
まちづくり事例上映会 小規模多機能自治に関する連続オンライン勉強会 【晩秋の陣】	11 月 30 日(火) 15:00～17:30	コミュニティビジネスや移動支援など先駆的な取り組み事例をオンライン上映	6 名
まちづくり勉強会 ～まちづくりへの多様な	12 月 19 日(日) 13:30～15:30	サポーター制度や期間限定チームなど、まちづくりへの新たな参加の仕組みを試みている	37 名

関わりを考える講演・事例紹介～		市内校区まちづくり組織より事例紹介 基調講演：島根大学教育学部 作野広和氏	
校区まちづくり組織会長・役員・事務局のための組織を守る危機管理の方法	1月28日(土) 13:30～15:30	校区まちづくり組織が想定すべきリスクについて、草津市の事例を交えながらレクチャー 講師：仲野 優子氏（草津市協働コーディネーター／しが NPO センター） ・茶木 修一氏（(公財)草津市コミュニティ事業団まちづくり振興グループ長）	25名



▲会計勉強会



▲まちづくりへの多様な関わりを考える講演・事例紹介～

## ②チャレンジグッズの充実

- ・オンライン機材などチャレンジグッズの充実化

## 4) 他機関連携

中学校コミセンが「学びのハブ」として改革を進めていくことも加わり、これまで以上に協働のまちづくりと他分野の連携の充実を図る1年となった。

各エリアでのコーディネートをきっかけにした具体的な連携事例が複数生まれた。魚住エリアでは総合支援センターが地域福祉課題解決の一環として、オンラインツールや動画制作を通じた活動強化支援を進めるなかで、オンライン会議体験の拠点として錦が丘まち協や中学校コミセンをコーディネートした。

### 【主な連携機関・連携内容】

連携機関	連携内容
明石市社会福祉協議会 (及び各総合支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者連携会議等での情報共有</li> <li>・オンラインを活用したセミナー実施の支援 など</li> </ul>

明石市教育委員会学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援者連携会議等での情報共有</li> <li>・ コミュニティ・スクールセミナーでの事例紹介 など</li> </ul>
---------------	--

## (2) 校区直接支援

今年度は、まちづくり計画書の策定・見直しが過去最多となり、これら校区を中心に校区まちづくり組織の組織体制のあり方検討が市域全体で大きく進んだ 1 年であった。他校区の動きに追従するのではなく、自校区としてどういった方針を取るかという検討を狙い、他市事例も織り交ぜながらアンケート作成や意見交換会など議論を深める機会を重点的に支援した。

その他の校区についても、各勉強会をきっかけに会計制度の見直しや広報活動の支援に着手するなど地域の状況に合わせて支援を進めた。

### ① 地域交付金受託校区

交付金受託校区は組織基盤強化や活動の拡充に向けたサポートに注力した。校区のまちづくりが深化するなかで、校区ごとにアプローチすべき課題や伸ばすべき事業が異なってきている。そこで先進的な活動事例の情報提供、組織体制見直しへの伴走など各校区に合わせた形で支援を行った。

校区名	松が丘 / 朝霧 / 花園 / 藤江 / 林 / 鳥羽 / 江井島 / 魚住 / 錦浦 / 二見北
-----	---

### ② 計画書策定・見直し校区

新規のまちづくり計画書支援に加えて、3校区の計画策定見直しを支援した。1期計画時に取り組んだ事業や体制を検証できるようにアンケートや意見交換機会の支援を行った。

校区名	中崎 / 大観 / 大久保 / 山手 / 錦が丘 / 二見
-----	-------------------------------

### ③ その他校区

まちづくり計画書策定に着手する手前の校区に向けて、組織強化の意識啓発を目的に会議の運営支援などに関わった。

校区名	貴崎 / 大久保南 / 高丘東
-----	-----------------

## II. 生涯学習の推進事業

今年度より全中学校コミセンにおいて「エリアマネージャー制度」が取り入れられ、コミセン改革が本格的に進み始めた。各中学校コミセンが新たな形に向けて模索する中で、当法人は新しい動きを始める中学校コミセンに対して個別支援を実施。運営が固定化されつつあったコミセン祭りの見直しに着手したコミセンは、ウィズあかしで開催していた「みんなの学校」の仕組みを取り入れ、またまちづくり協議会などが参加できる地域全体の企画への変更につなげることができた。このように新たな地域の生涯学習拠点「学びのハブ」に向け、少しずつ中学校コミセンの運営が変わりつつある。

また、コミセン高齢者大学やあかねが丘学園の見直しと合わせ、新たな高齢者学習「あかねカレッジライトコース」の運用が始まった。高齢者学習も中学校コミセンと同様に利用者の裾野を広げることが課題となるなかで、コロナ禍ではあったが 900 名以上の申し込みがあった。また、次年度からの専門的なテーマを学ぶ「科目別コース」の新設に向けて企画を進めるなど、新たな高齢者の学習機会として広がりつつある。

また、今年度は「明石市生涯学習ビジョン」の改定が進められた。上記のような市内の生涯学習を改めて推進する動きが広がる中で、社会的にもその必要性を明文化された生涯学習ビジョンへと見直された。様々な生涯学習推進の環境が整いつつあり、今後は多様な学びの機会創出が求められる。

### 1. 中学校コミセン改革支援事業

今年度はエリアマネージャーとしての意識を全体で高めていくために、研修機会などに加えてまずはそれぞれが感じている運営の課題などを共有し合える機会づくりから行った。自分たちで考える機会が運営を改善するモチベーションへとつながり、各種事業の見直しを進めようとするエリアマネージャーが現れ始めている。

そのような中学校コミセンに対しては、個別で各種事業の見直し支援に取り組んだ。コミセン祭りの見直しなどモデル的な事業として事例化されることで、他の中学校コミセンへ今後の動きの参考にされるなど、中学校コミセン改革に少しずつつながり始めている。

#### (1) 各中学校コミセンへの支援

各中学校コミセンの運営状況の把握を行いながら、それぞれのエリアマネージャーのモチベーションや課題意識に合わせて、「学びのハブ」としての機能が充実していくように個別に運営支援を行った。特に今後他のコミセンへ横展開していけそうな取り組みに注力して支援を行い、事例化につながっている。



▲野々池コミセン「みんなの学校」

【支援内容】

コミセン	注力した支援ポイント
野々池	・コミセン祭りの見直し支援（「みんなの学校」化）
大久保北	・地域連携に向け、校区まちづくり組織や交流機会へのコーディネート、相談対応
魚住	・地区福祉協議会等との、地域連携事業のコーディネート
二見	・コミセン運営委員会の組織体制、主催事業の見直し支援

(2) 全中学校コミセンに向けた支援

① エリアマネージャーへの意見交換・情報交換の機会づくり

全エリアマネージャーが一同に介する「エリアマネージャー会議」や、あかねカレッジライトコースの運営のあり方を検討するために任意のエリアマネージャーが参加する「ライトコースプロジェクト会議」などの開催を通じて、エリアマネージャー自身が中学校コミセンの運営改善に向け、有意義な情報交換を行えるよう、意見交換の機会づくりの支援をした。

【支援内容】

研修機会	回数	内容
エリアマネージャー会議	8回	・コミセン祭り、運営委員会のあり方、見直しについて ・ライトコース、市民講座など企画・実施した講座の実施状況 など
ライトコース プロジェクト会議	7回	・ライトコースの各種事業の運営状況、今後のあり方 ・修了交流ワークショップ、オリエンテーションの開催内容、方法 ・コミセン自体の交流・コミュニティ感の仕掛け、広報のあり方 など

② 研修機会の実施

地域の生涯学習拠点がどうあるべきかの視点を養う機会やオンラインツールの活用スキルを高めるため、エリアマネージャー・職員等に向けて研修を実施した。

【開催内容】

研修機会	開催日時	内容	参加コミセン／参加者数 (述べ人数)
グループウェア 勉強会	5月19日(水) 5月25日(火) 13:30~15:30	・データベースの使い方 ・グループウェアの使い方	19 コミセン

まちづくり勉強会 『『地域における 学び』を考える』	7月27日(火) 13:00~15:00	講師：中川幾郎氏 ・生涯学習の基本的な視点 ・生涯学習の本来あるべき姿 など	18名
----------------------------------	-------------------------	--	-----

### ③ 情報発信の強化支援

各中学校コミセンの情報発信を強化するために、コミセン独自で配信ができる広報ツールとして「LINE 公式アカウント」の運用を希望するコミセンに向けて、設置・運営支援を行った。

設置コミセン	8コミセン (内5コミセンが令和3年度に設置)
--------	-------------------------

## 2. 高齢者の主体的な学習機会支援（「あかねカレッジライトコース」の運営支援）

あかねカレッジライトコース運営初年度の今年度は、957名の受講登録、469件の講座機会、12,380件の講座申込があった。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、コミセンの使用制限などライトコースの運営自体が休止された期間があったものの、オンライン講座の実施などもあって想定よりも多くの受講申込があり、新たな高齢者の学習機会として運営を行うことができた。

そのような中、初年度のライトコースが的確に運営されるよう、運営状況を把握しつつ、コミセンなど関係機関との調整やコーディネートを行うことで、全体的な支援を行った。また次年度から拡充される新たなコースの企画支援や登録制度の整備などを行い、あかねカレッジ全体の基盤構築を進めた。



▲ライトコース オリエンテーション

### (1) ライトコース全体のコーディネート・運営支援

#### 1) 各種データ等の運営状況の分析・実態把握

ライトコース開催初年度において、これまで企画してきた内容が適切に運用されているか、狙いどおりの企画へとつながっているかを把握するために、年間を通じて現場への訪問やデータ分析より実態把握を行った。

#### 2) コミセンからの相談・サポート対応

ライトコースの運営を行うコミセンから、仕組みに関連した相談・問い合わせや、各種企画や機能の相談など、運営に全般に関する相談・サポートを年間を通じて実施した。

#### 3) ライトコース充実化に向けた企画・調整

上記、各コミセンにおけるライトコースの運営状況などを踏まえ、今後のライトコースの充実化に向けて関係各所と意見交換を行い、次年度以降の企画調整を行った。

#### ①「ライトコース等にかかるプロジェクト会議」の開催

任意で参加したエリアマネージャーとコミュニティ・生涯学習課、コミュニティ創造協会で、今後のライトコースのあり方について検討・意見交換を実施した。(全7回開催)

#### ② 各種会議への出席

あかねカレッジ全体に関わる各種会議（生涯学習あり方検討会議、あかねが丘学園新カリキュラム検討会議）に出席し、関係機関へ向けてライトコースの運営状況の共有や、今後の運営方針について随時協議検討を行った。(全21回出席)

### 4) 運営にかかる資料・データの作成

#### ①オリエンテーション、修了交流ワークショップに関する資料・データの作成》

受講生が主体的に学んでいく機運を作ることを目的としたオリエンテーションや修了交流ワークショップにおいて、学びの意識付けを的確に行うために、一定程度画一的な運用が行えるよう資料・データの作成を行った。

#### ②各種マニュアルの作成

ライトコースの運営にあたり各コミセンで統一の運用が行われるよう、オリエンテーションや修了交流ワークショップなどの各種企画運営マニュアルや、データベース等の使用マニュアルを作成し、各コミセンへ共有した。

### 5) その他運営にかかる支援

#### ① 各種研修・勉強会の実施

ライトコースの運営に必要な知識やスキルをコミセン職員・エリアマネージャーが体得するために各種研修・勉強会を実施した。

##### 【研修・勉強会の開催概要】

内容	開催日時	参加コミセン
修了交流ワークショップ 研修@zoom	12月22日(水) 10:30~12:00	7 コミセン
	12月23日(水) 10:30~12:00	10 コミセン
オリエンテーション 研修@zoom	3月10日(水) 14:00~15:30	11 コミセン
	3月11日(木) 10:00~11:30	7 コミセン

## (2) 講座の企画実施・運営支援

### ① ロールモデル講座の企画・実施

様々な活動を通じて、人生を主体的に過ごされているモデルとなるようなゲストを講師に招き、受講生への意識付けにつながるような講座を実施した。また、企画した講座はすべて収録と同時にオンライン配信を実施。インターネットを通じ、ホームページから自宅でも受講できる環境を整えた。(全6回)



▲3月9日開催「新しいチャレンジの始め方」

### ② オンライン講座の運営支援

あかねが丘学園が企画実施する共通講座をオンライン配信が行えるよう、機材の提供や配信方法の助言、支援を実施した。実施された講座はロールモデル講座と同様にすべてライトコース受講生はインターネットを通じて受講できるよう、環境を整えた。(全11回)

### ③ ホームページ及びデータベースの運営・保守管理

受講を希望する市民や受講生らに適切な情報発信を行えるよう、ホームページの運営・保守を行った。ホームページはパソコン・スマートフォン・タブレットなど、多様な媒体に合わせたデザインで構築した。また、受講生や講座の登録、受講申込の管理を的確に実施するために、データベースの運用と保守を実施した。

### ④ 広報物の作成・PR

年間を通じてライトコースの認知を広げるための広報物の作成やPRを行った。また、次年度の開講に向け、新コースも加えた受講生募集の広報を行うために、あかねカレッジ全体としてのコピーライティングやブランディングを含めた広報物の企画調整を行った。それを踏まえ、入学案内チラシ、あかねカレッジ案内パンフレット、入学願書、入学手続きに関する資料を作成した。

### ⑤ 次年度の開催準備

次年度の受講生に配布するための資料の作成や説明に使用する動画の取材・撮影・編集に加え、その他受講に必要な資材を準備・調達し、各コミセンへの配布を行った。



▲2022 年度入学案内チラシ

### ⑥ 新コース等の設計支援

次年度から新コースとして設置される「科目別コース」や、活動を行う団体登録制度やコーディネートセンターの新設に向けて支援を行った。関係各所が集う会議（全 10 回）における検討・助言や、日々の相談対応、資料作成などによってサポートした。

## 3. その他、生涯学習の推進事業

明石市全域の生涯学習の推進に必要な取り組みを行った。今年度は明石市の「生涯学習ビジョン」改定が進められ、情報提供や会議の運営支援などを積極的に実施した。その結果、次期生涯学習ビジョンにおいて、中学校コミセンを地域における「学びのハブ」として位置づけられたり、活動を通じた学びの重要性が掲げられたりするなど、これまで点となっていた明石市の生涯学習や市民活動支援の機能がつながり、今後面的に生涯学習が広がっていくための基盤整備につながった。

### (1) 明石市社会教育委員会議の運営支援

明石市生涯学習ビジョンの改定を目的に開催された社会教育委員会議の運営支援として、会議のサポートやビジョン内容への助言、また市民活動団体との調整などの支援を行った。

社会教育委員会議支援	5月24日(月)、8月24日(火)、10月11日(月)、 3月11日(金) 各 13:30~15:30
------------	--

### (2) その他の取り組み

市内の生涯学習のPRなどを実施した。

- ・「明石まちなかブックスポット MAP」のPRの強化：1,500部追加発行

### Ⅲ. 公共施設の管理運営事業-複合型交流拠点ウィズあかしの運営-

2021 年度は、指定管理期間が 5 年目ということで、これまでに蓄積された利用者との関係、市民講師とのネットワーク、専門家との協働等をみんなで作るウィズあかしの強みとして、市内全域を対象とした学びの場づくりを進め、3 つのセンターのそれぞれの特徴、専門性、強みを活かした事業を市の拠点施設として運営した。

複合型事業では、登録制度を団体だけでなく個人も登録できるよう制度変更し、互いに学び連携し合える仕組みづくりや、「チャレンジ屋台」など、市民の多様な関わり方のきっかけづくりを行った。「クロスカフェ」は、市民サポーターが自主的な運営に関わったり、男女共同参画センター相談室の利用者が参加するなど、複合型ならではの成果が生まれており、市民のエンパワメントにつながっている。

また、12 月に開催した「ウィズフェス 2021 ウィズミーツ×みんなの学校×AKVC～SDGs でつながり、学ぶ～」では、団体の日頃の活動発表や PR をする機会をコーディネートし、今回は SDGs をテーマとすることで、様々なジャンルの団体が参加し、それぞれがテーマに沿った内容に工夫し、参加団体間のつながりやコラボも生まれた。今年度は、市民講師の発表の機会「みんなの学校」や、あかねボランティアセンター（AKVC）の活動発表の機会「あかねボランティアフェスタ」と合同で開催したことも大きな成果であったといえる。

生涯学習推進事業では、この「みんなの学校」を中学校コミセンでの地域バージョンとして実施を支援し、発展した形での開催を実現できた。これまで実施してきた内容の拡充化と合わせ、学び合いから学びを深める工夫を広げることに取り組めつつある。

男女共同参画事業では、現場でのニーズから企画した講座の実施や、「クロスカフェ」とも連動し、展示や講座等を組み合わせながら支援を行った。コロナ禍の状況に配慮して一部の事業で他の公共機関へのアウトリーチを行い、より多くの人に相談できる機会の提供に尽力した。

市民活動支援事業では、団体のステップアップに重点を置いた助成のほか、広報媒体としてニーズの高まっている動画編集に関する広報スキルアップセミナーの実施等を通じて、市民活動の支援を行った。

なお、貸室運営の状況としては、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が 2 回発令され、その際は開館時間を短縮する対応を行った。結果として、施設の稼働率は 54.6%と前年度より僅か 4.4 ポイント上回る結果となったが、貸室移動の緩和措置や、非接触式検知器や空気清浄機の購入など利用者の利便性向上に対応し、安心してウィズあかしを利用できる環境づくりを行えた。

1 年全体を見ると、新型コロナウイルスの影響で利用者や稼働率は低迷したが、運営面において利用者の混乱や大きな苦情はなく、事業面においては、来館しなくても参加できるようオンライン受講と会場受講を併用しながら、様々な方法で受講できる機会を提供することができ、アンケート調査でも引き続き顧客満足度は高い評価を得ることができた。

## 1. 施設の管理運営

### (1) 開館日数・来館者数・稼働率等

開館日数	310 日間 (2020 年度 271 日間)	新型コロナウイルスによる 3 度目の緊急事態宣言発令等に伴い、4 月 17 日(土)から 7 月 11 日(日)までの期間、閉館時間を 20 時に繰り上げ、貸室利用や窓口・電話対応を 20 時までに短縮する対応を行った。 また、8 月 20 日(金)に 4 度目の『緊急事態宣言』が発出され、9 月 30 日(木)までの間は、開館時間を 21 時に繰り上げ、貸室やホールの利用、窓口・電話対応も同様した。
来館者数	168,744 名 (2020 年度 143,282 名)	(内訳) 有料施設：107,180 名 (2020 年度 84,932 名) 無料施設：11,571 名 (2020 年度 11,980 名) フリースペース：49,993 名 (2020 年度 46,370 名)
有料施設の稼働率	54.7% (2020 年度 50.2%)	明石市生涯学習センター：52.9% (2020 年度 47.4%) あかし男女共同参画センター：60.8% (2020 年度 60.0%)

### (2) 貸室別稼働率

別添「参考資料：貸室別稼働率一覧」のとおり

### (3) 修繕・保守・点検等

#### ① 修繕

センター設置から十数年が経過し、各種設備の老朽化が進んでいる。故障したトイレのセンサーや配管、蛍光灯など、設置から 20 年経過し老朽化した設備を、トラブルの未然防止や館を適切に運営するための修繕を行った。また、ウィズあかしの 7・8・9 階の運動性を高めるために、9 階フロアにおける雰囲気作りなどの修繕を実施した。

その他、点検時に異常が認められた箇所や、故障した際に施設の運営に多大な影響を及ぼす老朽化設備をまとめ、明石市に提案及び修繕を行った。

#### ② 保守・点検等

各設備の定期的な点検を実施し、必要に応じて修繕した。

点検日	点検内容	点検業者
4 月 14 日(水)、15 日(木)	館内 A V システム・視聴覚機材保守点検	大阪共立
5 月 19 日(水)、20 日(木)	空調機自動制御設備点検	日本都市管理
6 月 21 日(月)	A H U プレフィルター洗浄	日本都市管理
9 月 29 日(水)	A H U 点検清掃	日本都市管理

10月27日(水)	ホール舞台吊物装置保守点検	大阪共立
10月28日(木)、29日(金)	ホール調光設備保守点検	大阪共立
11月18日(木)、19日(金)	空調用自動制御保守点検	アズビル
1月7日(金)~25日(火)	室内機フィルター清掃	日本都市管理
2月25日(金)	中央監視設備保守点検	パナソニック LS エンジニアリング
2月25日(金)	舞台吊物装置保守点検	大阪共立

#### (4) 無料施設の運営

##### ① ブース・フリースペースの運営

市民活動団体の主体的な活動を支援するために 2017 年 4 月からグループ活動スペース（ブースおく・てまえ）とフリースペースを設置し、2019 年からは新たに活動スペース A・B を設置した。グループ活動スペースは団体内の打ち合わせに使用できるようにしており、フリースペースはイベント実施や展示など、活動の PR ができる。活動スペース A・B は両方の使い方ができる活動の場として有効に利用されている。さらに 2021 年 8 月には、フリースペースの全面利用（スペース∞と活動スペース A・B）ルールを整備し、ウィズあかし登録メンバーズ間でのコラボやコーディネート、大規模イベント、ウィズあかしが共催・協力するイベントに利用できるようにした。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため 1 ヶ月程度フリースペースとラウンジの利用を禁止した昨年度と比較すると、フリースペース来場者数、ブースおく・てまえ利用者数は増加し、個人での利用は回復したもののイベント実施件数は減少しており、活動を自粛する団体が多かったものと思われる。

- ◎イベント実施数：116 件（2020 年度：136 件）
- ◎フリースペース来場者数：49,993 名（2020 年度：46,370 名）
- ◎ブースおく・てまえ利用者数：6,079 名（2020 年度：5,743 名）

##### ② 7 階ラウンジの運営

設置している図書コーナーを図書ボランティアと共に運営し、季節や社会情勢、ウィズあかしで実施する講座やイベントに合わせた本の企画展示や、利用者がより利用しやすくなるよう貸出図書の整理を行うなど、図書ボランティアと共に行うことでより学びの空間として利用しやすくなるよう整えることができた。

##### ③ 情報コーナーの運営

情報コーナーの情報整理を行うとともに、多くの情報に出会えることはもちろん、その多くの情報から必要な情報に辿りつくようカテゴリの見せ方などの工夫を行った。

### (5) 市民みんなで作るウィズあかしを考える会議「ウィズあかし運営委員会」の開催

市民参画による運営を行うウィズあかしでは、多様な市民の意見が反映され、市民と一緒に運営していくウィズあかしを目指し、ウィズあかし運営委員会「市民みんなで作るウィズあかしを考える会議」を 2018 年度から設置している。2020 年度は第 1 期が 2019 年度末で任期が終了したため、新たに募集を行い、市民 11 名の第 2 期委員が決定し、新たな運営委員とともにウィズあかしに対する評価、関わることでの変化、変化の伝え方などについて議論を積み重ねた。

◎委員人数：12 名

#### 【開催内容】

	開催日時	内容	参加者数 (延べ人数)
第 3 回	5 月 27 日 (木) 18:00~20:00	① 前回の運営委員会の振り返り ② 意見交換「市民の暮らしにとっての公共空間」	25 名
第 4 回	10 月 28 日 (木) 18:00~20:30	① 前回の運営委員会の振り返り ② 1~4 年でウィズあかしがやってきたこと ③ 意見交換「ウィズあかしの一番いいところ&期待するところ」 ④ 意見交換「どうやったら評価できるか」	26 名
第 5 回	1 月 21 日 (金) 18:00~20:05	① 前回の運営委員会の振り返り ② 意見交換「〇〇のどんな変化をキャッチしたい」 ③ 意見交換「その変化をどんな人にどう伝えたい」	27 名

### (6) 市民サポーターの活動

市民参画による運営を行うウィズあかしでは、サポーター制度を設け事業の企画実施に参画できる仕組みを運営している。例えば、サロンに参加した人がサポーターとして運営に参加するなど、市民のエンパワメントの機会となっている。またサポーター同士の話し合いから、新事業の企画運営が行われている。

◎サポーター参加者数：延べ 313 名

◎サポーター活動内容：つながりサロン等各種サロン運営、手話通訳、文字通訳、図書スペースの管理、あかし楽歴史講座の受付等当日運営、その他事務補助等

#### 【サポーターが主体となって企画・実施した事業】

開催日	テーマ	内容	サポーター数 (延べ)
毎月第 2 水曜日	ヨルつな	自由に参加して交流できるサロンの運営をサポーターが実施（平日夜開催）	6 名
毎月第 3 土曜日	サタつな	自由に参加して交流できるサロンの運営をサポーターが実施（土曜開催）	10 名

## (7) 満足度アンケート調査の実施

ウィズあかしの現状を把握するとともに、利用者の潜在的なニーズの把握や利用による変化を確認するためにウィズあかし利用者満足度調査を実施した。例年、定点比較のためにアンケートの実施時期を合わせていたが、今回から開始時期を年度末の1カ月に見直し、3月1日～3月31日の1カ月間で実施したが、昨年度と比べると回答数は121件上回った。

新型コロナウイルスの影響により利用者数が低迷している中、今回で5回目となるアンケート調査においても各項目にわたって、一定の評価を引き続き得ていると考えている。

利用者の傾向として、居住地としては明石市内では東側（明石川以東・西）の利用者、また年齢層としては40代以上の利用者が、それぞれ約8割を占めている。そのため、西側（大久保・魚住・二見）の地域に住む市民と、30代以下の利用者が少ないことは傾向として変わらず、課題である。

なお、今回からウィズあかしを利用したことでのどのような変化が起こったのか、利用した満足度のその理由を聞く設問などを新たに設定した。どのような変化が起こったかについては、ほとんどの年代で「新しい知識・情報を得た」が一番高い割合を占め、次に「友人や知り合いができた」と「生活が楽しくなった」が高い割合を占めた。60代以降の利用者においては、「生きがいを持つことができた」や「健康になった」の割合が高い傾向がみられた。そして、約7割がウィズあかしの利用をきっかけに様々な変化が起きたという結果となった。

また、満足度については例年と同様に高く、利用者から「貸室・設備」や「施設までのアクセス」といった施設のハード面で高い満足度を得ているだけでなく、「職員対応」や「清潔感」といった施設運営での努力面でも高い満足度を得ている。

個別意見の中で、貸室の設備の充実や駐車料金の割引サービスを適用してほしいという要望をいただく反面、スタッフに対する感謝の声を変わらず多くいただくことができた。

◎期 間：2022年3月1日（火）～3月31日（木）

◎調査方法：ウィズあかし5カ所にアンケート用紙と回収箱を設置し回収した

フリースペースやラウンジにQRコードを設置し、WEBでも回答ができるようにした

◎回 答 数：456件

## 2. 複合型事業

---

今年度より登録メンバーズ制度を団体だけでなく個人も登録できるようにし、「ウィズゆう」や「ウィズフェス」などの機会を通じて個人・団体の垣根を越えた交流・意見交換や学びの機会の提供を行った。

今年度の新たな取り組みとして、市民誰もが気軽に特技や知識を発表できる「チャレンジ屋台」を実施したところ、参加者が「みんなの学校」の講師に挑戦するなど、次のステップにつながるきっかけづくりを行うことができた。また「教えて先輩！」では市民講師を招いてサロン運営の方法について

て市民同士の学び合いの機会づくりを行い、実際に参加者のサロン開設につながるなどの波及効果があった。

従来より実施している「クロスカフェ」では、男女共同参画・市民活動・生涯学習の分野を複合した形で市民が多様なきっかけから交流できる機会づくりを目的に様々なサロンを開催し、「男女共同参画センター相談室」の利用者が参加したり、市民サポーターが自主的に企画・運営しているものなどがあり、市民のエンパワメントの機会につながっている。

### (1) 登録メンバーズ制度

2021 年度は新規設立団体をはじめ、個人の登録も出来るように制度変更し、登録件数は順調に増加している。フリースペースや活動スペースでは、会議やサロンなどが日々使用されている。

フリースペースイベントやメーリングリストでの恒常的な支援に加え、団体の交流・意見交換の場である「ウィズゆう」を開催することにより、団体間の交流が生まれ、活動に対する意識が高まっている。

◎登録団体数：206 団体

#### ①サポート内容

メニュー	内容
スペース∞・活動スペース A・B のイベント利用	イベントでの利用ができる
グループ活動スペース（スペース∞、活動スペース・ブースおく・てまえ）の利用	団体内の打ち合わせや作業のスペースが利用できる
メーリングリストの利用	登録団体のイベント情報を共有できる。 自分の団体の PR はもちろん、他団体の活動の情報収集もできる
グループ活動展示スペースの利用	団体の活動紹介や作品の展示ができる
イベントの受付代行	団体の主催するイベントの申込代行受付を利用できる（有料）
ロッカーの利用	大・小 2 種類のロッカーが利用できる（有料）
印刷室の利用	モノクロ印刷、カラー印刷、長尺印刷
チャレンジグッズの貸出	ドミノ、ピブス、ワークショップグッズ、交流活動グッズ、書籍、えんたくん（テーブル型模造紙）

#### ②交流・意見交換会「ウィズゆう」

##### 【開催内容】

	開催日	内容	参加者数
第 1 回	5 月 12 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度「ウィズあかしグループ登録団体更新制度」の内容変更について</li> <li>・「ウィズあかし 2021in あかし市民広場」の報告</li> <li>・2021 年度ウィズあかしステップアップ助成について</li> <li>・意見交換交流タイム</li> </ul>	27 団体 30 名 オンラインのみ

第2回	8月28日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウィズフェスみんなの学校&amp;ウィズミーツ」について</li> <li>・フリースペース全面利用について</li> <li>・意見交換交流タイム</li> <li>・SDGs ワークショップ</li> </ul>	30 団体 33 名 うちオンライン 13 名
第3回	1月29日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウィズフェス 2021」のふりかえり</li> <li>・意見交換交流タイム</li> </ul>	40 団体 45 名 うちオンライン 14 名

## (2) 生涯学習・市民活動に関する相談・コーディネート

個人の「学びたい」や、団体の活動、次のステップに展開するためのアドバイス、団体同士のコラボを促すコーディネートを行った。個人や団体の活動をステップアップするアドバイス・団体間のコラボレーションを促すコーディネートを実施した。相談の中には、NPO法人設立や運営・会計相談等の相談などもあり、活動の内容の変化にともない新しいことを取り入れたいなどの相談も多くあった。

### 【実施内容】

メニュー	件数
生涯学習、市民活動に関する相談	143 件
生涯学習、市民活動に関するコーディネート	40 件

## (3) 登録メンバーズのイベントコーディネート

ウィズフェス 2021 等に登録メンバーズをコーディネートすることで、多くの市民に団体の日頃の活動の紹介やPR、啓発、会員の募集など活動の幅をひろげる機会の提供を行った。

### 【開催内容】

開催日	イベント	内容	参加者数 (延べ人数)
12月11日(土)・12日(日)	ウィズフェス 2021 ウィズミーツ×みんなの学校×AKVC～SDGs でつながり、学ぶ～	ステージ発表：28 団体 ブース出展：44 団体 みんなの学校：53 組 活動紹介パネル展示：34 団体	約 1,600 名 (2 日間延べ)

(4) ウィズフェス 202 ウィズミーツ×みんなの学校×AKVC～SDGs でつながり、学ぶ～の開催

例年、別事業として実施していた「ウィズミーツ」と「みんなの学校」を、「つながり、学ぶ」をテーマに同時開催とした。個人が講師・生徒になれる学びの機会とともに、市民活動団体が日頃の活動紹介や PR を行うなど、互いに学び合い、活動の幅をひろげる機会の提供を行った。また、あかねボランティアセンター（AKVC）の活動発表の場とすることで団体同士の学び合いのきっかけづくりを行ったほか、イベント全体のテーマを「SDGs」とすることで、参加者の意識啓発にもつなげることができた。



今年度は 33 名の新しい市民講師が講座を行い、昨年度とは違った内容の講座も多く、一般参加者が多様な学びに出会える場となった。また、中学校コミュニティ・センターのエリアマネージャーが本イベントで見つけた講師に講師依頼をすることもあり、市民講師の活動の広がりにもつなげる機会にもなった。



◎開催日:2021年12月11日(土)、12日(日)

◎参加者数:約1,600名(2日間延べ)

◎講師数:53組

(5) はじめての ZOOM 体験会

昨年度より引き続き、ZOOM の使い方にも慣れない方への支援や市民同士の自主的な運営を後押しするための支援が必要であるとの認識から ZOOM 体験会を開催した。

【開催内容】

開催日	応募数	参加者数
5月28日(金)・6月19日(土)・7月17日(土)・ 8月24日(火)・9月23日(木)・10月27日(水)(全6回)	延べ47名	延べ47名

(6) 教えて先輩！～私のサロンの作り方～の開催

「教えて先輩！～私のサロンの作り方～」では、テーマ型や地縁型それぞれのサロンを運営している先輩から体験談などの生の声を聞き、参加者同士が熱心に意見交換を行ったり、サロンに興味を持つ参加者のサロンを開設するきっかけになるなどの波及効果が見られた。従来のサロンと異なり「テーマ」や「地縁」等の軸を設けることで、市民同士の主体的な交流の場としての機能を果たすことができた。



【開催内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
10月9日(土)	教えて先輩!～私のサロンの作り方～	スタートライン 西村 恵美子 氏 中崎まちづくりの会 生田 真美 氏 氏・公家 千鶴子 氏	11名	11名 うちオンライン1名

(7) チャレンジ屋台「チャレ屋」の開催

今年度より新たに実施したチャレンジ屋台「チャレ屋」では、市民が自身の特技や知識をそれぞれが持つテーマで発表し、表現する機会を提供した。参加方法も会場やオンラインなどさまざまな場所で開催し、オーディエンスも会場だけでなく YouTube 配信を通じて視聴することができるようにし、市民に身近な知識を気軽に学べる機会の提供を行った。

【開催内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数 (延べ人数)
6月24日(木) (プレ開催)	絵本「しげちゃん」読み聞かせ	青木 聡子さん	—	6名
8月28日(土)	元気な高齢者の皆さん、介護助手ってしてる?	藤本 都 氏	—	10名
9月16日(木)	不思議な電波のお話し	小林 進 氏	—	14名
10月6日(水)	救急が必要となるもしもの時に、救急情報シートを作っておきましょう!	千速 正直 氏 宮内 克浩 氏	—	7名
10月7日(木)	タケ子さんの竹体操®の秘話	新宅 タケ子 氏	—	6名
11月18日(木)	お風呂モンダイ～だれと?いつまで?～	北 みか 氏	—	9名
11月20日(土)	みんなでゲートキーパーさん	大園 満子 氏	—	6名
3月9日(水)	あなたも輝くフェミニンケア	北 みか 氏	—	5名
3月9日(水)	思春期のからだに起こること	北 みか 氏	—	5名
3月24日(木)	マジックを通して不思議と驚きの時をお楽しみください	藤山 翔太 氏	—	17名



▲不思議な電波のお話し



▲みんなでゲートキーパーさん

### (8) 多様な交流の場「クロスカフェ」の開催

様々な分野の誰もが気軽に参加できる交流の場「クロスカフェ」では、例年実施している「つながりサロン」や絵本やぬりえなどをテーマにした各種サロンに加え、日中に集まれない方を対象とした交流機会「ヨルつな～夜のつながりサロン～」や、「サタつな」（毎月第 3 土曜日）、「つな ZOOM」（毎月第 4 水曜日）、コラージュによる自己表現をテーマとした「アートカフェ」を開催した。

#### 【開催内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数 (延べ人数)
毎月第 1 木曜日	つながりサロン	市民サポーター (ボランティア)	—	36 名
毎月第 2 水曜日	ヨルつな ～夜のつながりサロン～	市民サポーター (ボランティア)	—	46 名
毎月第 3 土曜日	サタつな	市民サポーター (ボランティア)	—	38 名
毎月第 4 水曜日	つな ZOOM	市民サポーター (ボランティア)	—	56 名 (うち来館 2 名)
毎月第 4 水曜日	おとなのぬりえサロン	—	—	38 名
7 月 28 日 (水) 2 月 26 日 (土)	アートカフェ ～コラージュで自己表現～	鎌田 ゆり 氏	26 名	26 名



▲つながりサロン



▲おとなのぬりえサロン

### 3. 男女共同参画事業

男女共同参画事業では、相談事業を行っている強みを生かし、女性カウンセラーが現場でのニーズから企画した講座を実施した。目的や対象に合わせて、「クロスカフェ」や「相談室」とも連動し、展示や講座などを組み合わせながら、支援を行った。また、市民団体との共催により LGBT 当事者を対象としたサロンを開催したほか、他機関との連携により、人とのつながりや就業に不安を抱える方を対象にボランティア活動機会の提供を行った。そのほかコロナ禍の状況に配慮して一部の事業で他の公共機関へのアウトリーチを行うなど、より多くの人に必要な情報や支援が届くよう、工夫しながら事業を実施した。

### (1) 男女共同参画センター相談室

男女共同参画センター相談室では、女性のさまざまな悩みに対して女性問題カウンセラーが対応する「女性のための相談」、就業相談員による「就業相談」のほか、月に数回、弁護士やキャリアカウンセラーによる「女性のための法律相談」「女性のためのチャレンジ相談」を実施した。また、相談者の悩みに応じて社会資源の案内をしており、各種相談機関との連携に努めている。

「女性のための相談」の相談総件数は昨年度から 26%増の 1,144 件となっており、特に電話相談の再相談件数が昨年度の 65%増となり、大幅に増加した。相談者の幅広い悩みに対応するため、DV センターをはじめとする関係機関との連携に力を入れたり、就業相談や各種サロン、講座など相談者のニーズに応じた場へつなぐよう配慮を行った。

「就業相談」については、昨年度から性別に関わらず相談できる体制を整えたほか、月 1 回夜間の相談日を設けており、男性の相談者は 21 名であった。また、昨年度より開始した「カードで発見！適職のヒント」は前年を上回る 72 名の利用があり、自己理解を深めるツールとして定着している。また「履歴書・職務経歴書の作成相談」の件数も増加しており、コロナ禍における求人応募の後押しを行うことができた。昨年度スタートした夜間の就業相談には 4 名の利用があり、日中に来所できない方のニーズ対応につなげることができた。子育て支援センターでの出張相談については、出張先を 2 ヶ所追加し、コロナ禍で外出しにくい環境下において、より多くの方が身近な場所で相談できる機会の提供に尽力した。

2019 年 1 月から実施している「男性のための電話相談」では、できるだけ多くの方に周知するため、チラシやホームページ、SNS 等での情報発信を行っており、問い合わせや相談件数が増加しつつある。

#### ① 女性のための相談

実施日	内容	人数・件数内訳		
火曜～土曜	女性問題カウンセラーによる女性の様々な悩みに対する電話・面接相談	電話相談	900 件	新規 178 件／再相談 722 件 ※内 DV 関連相談：79 件
		面接相談	244 件	新規 117 件／継続 127 件 ※内 DV 関連相談：43 件

#### ② 女性のための法律相談

実施日	内容	人数・件数内訳		
第 3 木曜日 (計 11 回)	女性弁護士による無料法律相談	面接相談	29 件	

#### ③ 就業相談

実施日	内容	人数・件数内訳		

火曜～土曜	女性就労相談員による相談	相談件数	電話相談：34件 ※新規：14件 面接相談：279件 ※新規：151件 出張相談：18件 夜の就業相談：4件
-------	--------------	------	---

④ 履歴書・職務経歴書の作成相談

実施日	内容	人数・件数内訳	
火曜～土曜	女性就労相談員による応募書類の作成相談	相談件数	60件 ※男性6件、女性54件

⑤ カードで発見！適職のヒント

実施日	内容	人数・件数内訳	
火曜～土曜	女性就労相談員による適職に関する相談	相談件数	72件 ※男性10件、女性62件

⑥ 女性のためのチャレンジ相談

実施日	内容	人数・件数内訳	
隔月1回 (計6回)	女性キャリアカウンセラーによる個別面接 相談 ※兵庫県との連携事業	面接相談	17件

⑦ 男性のための電話相談

実施日	内容	人数・件数内訳	
第3水曜日 (計11回)	男性相談員による男性の様々な悩みに対する 電話相談	電話相談	30件

(3) 講座・セミナーの開催

① 多様性に関する普及啓発事業

従来の「らしさ」にとらわれない、それぞれの個性や価値観を認め合う社会を目指し、講座や展示を行った。

【講座・交流会】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
4月10日(土)	【LGBTQ+交流会】 Rainbow Gathering, Open Rainbow	※LGBTQ+の当事者と支援者で構成された市民団体「ソラニジ・アカシ」共催	13名	13名
毎月第4土曜日	LGBTQ+コミュニティサロン	※LGBTQ+の当事者と支援者で構成された市民団体「ソラニジ・アカシ」共催	72名	59名
6月25日(金)	男女共同参画週間 映画観賞会	※明石シネマクラブと共催	191名	303名

11月13日(土)	HSPが自分らしく あるためのヒント	コミュニケーションサポーター 横山 由紀子 氏	50名	42名
1月29日(土)	HSPのトリセツを つくろう!	コミュニケーションサポーター 横山 由紀子 氏	9名	7名

【展示】

開催日	テーマ	内容
6月23日(水)～6月29日(火)	男女共同参画週間	①小さな男女共同参画を見つけよう・男女共同参画のたねの募集、掲示（あかし市民図書館と連携） ②本の企画展示（あかし市民図書館と連携） ③パネル展示、アンケートの掲示 ④Twitter アンケートの実施
11月12日(金)～11月25日(木)	パープルリボンキャン ペーン	風船タワーの展示、啓発ティッシュの配布、本の企画 展示

② ひとりひとりの自立を促す相談・支援事業

ひとりひとりの自立を促すことを目的として、自分を大切に、相手を大切にする考え方を学ぶ講座を実施し、対象者や参加人数を工夫したりワークを交えるなど、参加者が安心して主体的に参加できるよう配慮を行った。

【開催内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
9月3日(金)、11日(土)、18日(土)、10月2日(土)、9日(土)	女性のための自己尊重トレーニング～アートセラピー編～(全5回)	兵庫県立男女共同参画センター相談員 鎌田 ゆり 氏	15名	延べ55名
10月30日(土) 11月27日(土)	女性のための自己尊重トレーニング～実践編～(全2回)	兵庫県立男女共同参画センター相談員 鎌田 ゆり 氏	6名	延べ11名
3月5日(土)	子の就労に向けて親ができること～5つの大切なポイント～	あかし若者サポートステーション就労支援員 山脇 洋子 氏	11名	11名
2月23日(水)	アサーティブコミュニケーションセミナー～さわやかな気持ちの伝え方～	公認心理士 小林 清美氏	22名	16名



▲女性のための自己尊重トレーニング



▲アサーティブコミュニケーションセミナー

### ③ 自分らしく働くための「就業」「起業」に関する講座

それぞれのライフステージにあわせた働き方を選択するための知識や方法を学ぶ講座を開催した。

#### 【開催内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
2月5日(土)	初めての起業～起業でわたしらしく働きたい！～ ※一般財団法人女性労働協会協力	中小企業診断士 古屋 由美子 氏	22名	18名
10月13日(水)	働きたいママの再就職準備セミナー ※ハローワーク共催	社会保険労務士 高見 香織 氏	27名	19名
10月16日(土)	出張！女性のための働き方セミナー「怒り・イライラのコントロール法」 ※兵庫県共催	社会保険労務士 藤原 寛子 氏	14名	9名
7月10日(土)	起業応援セミナー ※一般財団法人明石市産業振興財団共催	一般社団法人リベルタ学舎 代表理事 湯川 カナ 氏	99名	75名 (うちオンライン 34)



▲働きたいママの再就職準備セミナー



▲女性のための働き方セミナー

### (4) 他団体との連携事業

事業の実施や施設の運営に関して、近隣の公共施設や専門的なスキルを持った市民団体等と連携し実施した。

#### 【連携内容】

連携機関	連携内容
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性のためのチャレンジ相談（通年）</li> <li>女性のための働き方セミナー（10月16日）</li> </ul>
一般財団法人明石市産業振興財団	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業応援セミナー（会場・オンライン）（7月10日）</li> </ul>
一般財団法人女性労働協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての起業（2月5日）</li> </ul>
あかし女性応援ねっと	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本女性会議 2021 in 甲府」サテライト会場（10月26日）</li> <li>「戦略的に家事育児シェアしよう！」（12月19日）</li> <li>「もうあかんわ日記」（3月5日）</li> </ul>
ソラニジ・アカシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>【LGBTQ+交流会】 Rainbow Gathering ,Open Rainbow（4月10日）</li> <li>LGBTQ+コミュニティサロン（通年）</li> </ul>

## 4. 生涯学習推進事業

2021 年度はこれまで実施してきた内容を拡充化と合わせ、学び合いから学びを深める工夫をすることに取り組んできた。

これまで実施してきた市民講師の発表の機会「みんなの学校」については、既出の通り、ウィズフェスとして市民活動団体やあかねボランティアセンター（AKVC）と一緒に開催することで他団体との交流の意識付けをしたり、中学校コミセンにおける地域バージョンとしての実施を支援したりと、学び合う企画の特徴を活かし新たな交流のきっかけをつくる仕掛けとして展開できつつある。

また、明石についての歴史や文化を学ぶための「あかし楽」では、「歴史講座」は昨年度に続きオンライン配信を導入した。オンラインを希望する受講者数は会場参加者と比較して 2 倍近くとなり、コロナ禍でも学びを止めたくないニーズに応えられたと感じている。明石についてもっと気軽に学ぶ「@あかしゼミ」は、今年度は本をテーマに開催。あかし市民図書館や小・中学校コミュニティ・センターといったウィズあかし以外の場所で、本を通じた交流の体験機会として開催した。この「@あかしゼミ」や本を通じた交流の場を設置している主催者同士の交流の場「あかしブックスポット MEETing」などを通じて、“本のまち明石”の充実につながられた。

なお、今年度の特筆すべきこととして、「あかし楽」企画運営メンバーであるあかし学実行委員会の見直しを進められつつあることが挙げられる。今年度の実行委員会では、実行委員とともにワークショップを実施し、各委員が持つ知識や経験を次世代にどう継承していくか、明石市内にどう広げていくかについて話し合いを進めている。2022 年度から具体的に動き出す予定である。

### (1) 講座・セミナーの開催

#### ① あかし楽歴史講座「災害から学ぶ 明石の歴史」（全 8 回の連続講座）

あかし学実行委員会による企画・運営の講座。昨年度からのコロナ禍の影響により、オンライン受講も併用して開催した。オンラインの受講者数は約 2 倍となり、学び方の幅が広がるか機会となっている。また、グラフィックレコーディングを導入し、学びを振り返る仕組みを作った。

◎申込者数：58 名（オンライン 15 名）

#### 【開催内容】

開催日	テーマ	講師	参加者数 (内オンライン)
8 月 7 日（土）	総論明石の洪水	兵庫地理学協会 森本 眞一 氏	49 名（16 名）
8 月 21 日（土）	明石の干ばつ	市立文化博物館 義根 益美 氏	45 名（16 名）
9 月 4 日（土）	荒れる明石海峡～風と波～	神戸史学会 宮本 博 氏	38 名（14 名）



9月18日(土)	阪神・淡路大震災と明石の文化財	明石市文化財調査団 山下 俊郎 氏	40名(16名)
9月25日(土)	明石の方言	明石高専准教授 荒川 裕紀 氏	43名(16名)
10月2日(土)	明石の近世絵画	神戸学院大学准教授 矢嶋 巖 氏	45名(11名)
10月16日(土)	明石海峡の漁業	神戸史学会 吉岡 保 氏	43名(15名)
10月23日(土)	明石の伝統的民家	明石高専教授 大塚 毅彦 氏 防災リテラシー研究所代表 太田 敏一 氏	39名(6名)

② あかし楽「@（あっと！）あかしゼミ-まちの魅力と出会う講座～“本のまち明石”と出会う～」（3回講座）

“本”を通じた学びや交流を体験する機会として開催した。開催場所を公共施設（あかし市民図書館）、小学校・中学校コミュニティ・センターと変えることで、それぞれの場の特徴を知るとともに、生活に身近なところに交流や学びの場があることの気づきにもつながった。



◎申込者数：40名

【開催内容】

開催日	テーマ	講師/ゲストスピーカー	場所	参加者数
3月6日(日)	ちょっとノゾキミ！？ 図書館のアレやコレ	あかし市民図書館スタッフ	あかし市民図書館	15名
3月13日(日)	みんな集まれー！地域 でうまれる 本×ひと	大原 笑子 氏(二見北まちづくり協議会) 白川 ひとみ 氏(絵本でわくわくの会)	あい☆あいライブラリー	15名
3月20日(日)	ワクワクのはじまり！？まなびの場での 本バトル	藤林エリアマネージャー（衣川中学校コミュニティ・センター）	衣川中学校コミュニティ・センター	7名

③ あかしブックスポット MEETing #1

明石市内に点在する本を通じた交流の場（ブックスポット）のオーナーや興味のある人が集まり事例紹介や情報交換を行うことで、お互いに学び合う場となった。

【開催内容】

開催日	事例紹介者	参加者数 (内オンライン)
10月15日(金)	譜久山 剛 氏(ふくやま病院)	9名



	南谷 孝雄 氏(小さな図書館)	(4名)
--	-----------------	------

## (2) あかし学実行委員会の運営

これまであかし学実行委員会では歴史講座の企画を主に行ってきたが、委員からも若い世代にも明石の魅力に気づいたり学べる機会が必要だという意見が出てきている。これからのあかし楽に必要なこと挑戦すべきことの検討を始めた。



### 【開催内容】

	開催日	内容	参加者数
第1回	4月23日(金)	1.2021年度あかし楽歴史講座について 2.2020年度あかし楽歴史講座アーカイブについて 3.今後のあかし楽について	7名
第2回	9月9日(木)	1.2021年度あかし楽歴史講座について 2.今後のあかし楽について	8名
第3回	12月21日(火)	1.2021年度あかし楽歴史講座について 振り返り 2.@あかしゼミについて	7名

## (3) 「みんなの学校」の企画コーディネート

7、8ページにも記載のとおり、野々池コミセンにおいてコミセン祭りを見直し、「みんなの学校」としてリニューアルしたいと相談があり、企画立案から実施までのサポートを行った。これまで培ってきた「みんなの学校」の学び合いの要素や運営ノウハウを活かし、中学校コミセンのサークルや地域団体、企業などによる地域の新たな学習機会をコーディネートすることができた。

## 5. 市民活動支援事業

コロナの影響により、ZOOM の利用や動画配信などを希望する団体が一定数増えつつある。そこで、2021 年度は動画による広報のスキルを習得するためのセミナーを実施した。このセミナーには、ウィズあかしの登録メンバーズだけでなく、中学校コミセンのエリアマネージャーや校区まちづくり組織からの参加も見られ、テーマ型市民活動団体と地縁型のグループが交流する機会にもつながった。

登録メンバーズ数は年々増加傾向にある中、各団体・個人がどうステップアップするのか、その支援がどうあるべきかという点が重要となってきた。昨年度に続いて実施したウィズあかし市民活動ステップアップ助成では、より一層「ステップアップする」という点を重視して実施した。

また、前述の「ウィズフェス 2021～SDGs でつながり、学ぶ～」においても、日頃の活動が SDGs のどの目標に関係するかなどを意識し、活動の幅を広げる機会につなげた。他の目標を同じくする団体同士や交流するなかで新たなつながりがうまれる機会にもつながった。登録メンバーズ内で少しずつ SDGs を意識して活動する団体・個人が出はじめていることが大きな成果であるといえる。

### (1) ウィズあかし市民活動ステップアップ助成

昨年度に続いて市民活動団体や校区まちづくり組織に対する助成事業を実施した。2021 年度は特に「ステップアップ」に重点を置き、「自身の活動についてアンケートを取ったり、振り返りの機会を重ねることでフィードバックを行う」ことや、「公共性の獲得」を意識した活動を実施することを目的として助成した。本助成事業は、ウィズあかし 8 階設置の市民活動支援自動販売機の売り上げを原資として実施した。

#### 【開催内容】

対象	応募数	採択数	助成総額
ウィズあかし登録団体または校区まちづくり組織	15 団体	13 団体 1 団体上限 3 万円	39 万円

### (2) 市民活動のための広報スキルアップセミナー

活動を広報する媒体として近年ニーズの高い動画での広報スキルを学ぶセミナーを開催した。具体的なやり方をわかりやすく紹介してもらい、セミナー終了後にもすぐに実践できるスキルを学んだ。また、会場をアウトリーチすることで市西部エリアの市民も参加しやすくなり、会場となった中学校コミセンとの連携も深まった。

#### 【開催内容】

開催日	テーマ	講師	場所	応募数	参加者数
9 月 15 日 (水)、 22 日 (水)、 29 日 (水)	市民活動のための広報スキルアップセミナー～動画で発信！私たちこんなことやってます！～ (全 3 回)	ぐっでいテレビ映像 クリエイティブラボ 森 邦和 氏	ウィズあかし	29 名	延べ 63 名
1 月 25 日 (火)	みんなの活動のための広報スキルアップセミナー～スマホで動画をアップロード		魚住中学校コミュニティ・センター	13 名	13 名

### (3) ゲームで知ろう！SDGs

ボードゲームを通じて市民が気軽に SDGs にふれるきっかけづくりや、その後 (12 月 11・12 日) に開催される「ウィズフェス 2021～SDGs でつながり、学ぶ～」へつながるよう SDGs についての意識をつなげていった。

#### 【開催内容】

開催日	テーマ	参加者数
9 月 11 日 (土) 10 月 24 日 (日)、 11 月 13 日 (土)	ゲームで知ろう！SDGs (全 3 回)	延べ 19 名

## IV. 情報発信・情報提供に関する事業-全体に関する事業-

中間支援組織である当法人としては、必要な情報を必要な人に届ける「情報の中間支援的役割」を果たすことも法人の大きな目的であると考えている。そのため、より一層アクセシビリティを高めるために、今年度は既存の情報発信媒体を見直しリニューアルを行った。ひとつは、複合型交流拠点ウィズあかしのホームページでトップ画面の視認性を高めることを重視したリニューアルを行ったことである。視認性を高めることでウィズあかしの貸室や相談の情報へのアクセスを容易にし知りたい情報に辿りつきやすくなる工夫をした。今後は、「まちナビ AKASHI」のサイトを、活動や活動している人の情報にも出会うための様々な情報が集約されたポータルサイトとして充実させていきたい。

また、これまでウィズあかしで開催されるイベント情報を掲載していた情報紙 With を「イベント情報紙 Ru,Ru,Ru」へリニューアルを行った。見やすい紙面にするとともに掲載内容も明石市内のイベント情報が集まるまちナビ AKASHI からピックアップすることで多様なイベントを掲載し、人と人、人とコトがつながるきっかけとした。

### (1) インターネットを活用した情報発信

#### ① ウィズあかしホームページのリニューアル

これまでウィズあかしのホームページは、ポータルサイト「まちナビ AKASHI」の中に存在する形を取っていた。しかしながら、「まちナビ AKASHI」がポータルサイトとしての機能充実を進めていることから、ウィズあかしの貸室利用や相談機能へのアクセシビリティを高めるために、「まちナビ AKASHI」とウィズあかしを切り離し、ウィズあかしのホームページとして、全面リニューアルを行った。



◎年間アクセス数：137,182pv

#### ② ポータルサイト「まちナビ AKASHI」の掲載情報拡充

「まちナビ AKASHI」では、明石のまちのイベント情報だけでなく小学校区別のまちづくり組織の活動や市民活動団体の情報も掲載している。今年度は、中学校コミセンの情報掲載も見据えてさらなる改修を行った。活動や活動している人の情報にも出会えるウェブサイトとして、より一層ポータル化が進められつつある。



◎年間アクセス数：42,578pv

### ③ 動画配信サービス YouTube「ウィズあかしちゃんねる」の運用

インターネット環境があれば、どこでも好きな時間に動画で情報を得ることができる特性を活かし、ウィズあかしのセンター機能や登録メンバーズの活動紹介などを発信し内容の充実に努めた。

◎登録者数 73 人

### ④ 各種 SNS (Twitter、Facebook、Instagram) の運用

貸室の休館情報や開館時間の短縮など緊急度の高い情報も迅速に発信するように努めた。SNS をきっかけにウィズあかしの利用やイベントへの参加にもつながっている。

◎フォロワー数

開催日	Twitter	Facebook	Instagram
一般財団法人明石コミュニティ創造協会	17	429	—
複合型交流拠点ウィズあかし	843	551	315
あかし男女共同参画センター	554	—	—

いずれも 2022 年 3 月 31 日現在

## (2) 情報紙の発行

### ① イベント情報紙の発行

これまで発行してきたウィズあかしの情報を発信してきた情報紙 With を、イベント情報紙 Ru,Ru,Ru としてあかしのまちのイベント情報に特化した紙面にリニューアルすることで、イベントを通じた人との出会いや新たな学びにつながるきっかけとして発行している。

◎情報紙 With 毎月 1,000 部発行 (vol,50 9 月号まで)

◎イベントカレンダー 毎月 200 部発行 (10~3 月号まで)

◎イベント情報紙 Ru,Ru,Ru 1,000 部発行 (4 月号)

### ② 図書パスファインダー (道しるべ) の発行

主催講座の PR やテーマの啓発を目的に、7 階図書コーナーに所蔵する関連書籍の紹介を目的としている。

発行日	テーマ	発行部数
10 月 30 日 (土)	vol,9 「HSPについて考えてみませんか？」	800
11 月 11 日 (木)	vol,10 「パープルリボンキャンペーンに関するおすすめの本」	800
12 月 28 日 (火)	vol,11 「女性の視点に立った防災について考えてみませんか？」	800

## V. 市民の主体的な活動支援事業

### 1. 明石市環境基本計画市民ワークショップ企画運営事業

#### 及びエコウィング明石組織見直しワークショップ開催支援事業

##### (1) 明石市環境基本計画市民ワークショップ企画運営事業

明石市環境基本計画の見直しにかかる市民ワークショップの企画・運営事業を明石市環境総務課より受託した。2020 年度中に全 4 回実施予定であったが、2020 年 1 月の緊急事態宣言発令にともない、全 4 回中 2 回を 2020 年度に実施し、残りの 2 回を 2021 年度に実施した。ワークショップでは 10 年後の明石の環境未来像についてのキーワードや取り組むべき内容等を出し、2022 年 3 月に策定された第 3 次明石市環境基本計画につなげることができた。

◎テーマ：明石の環境の未来像を描くワークショップ

◎回数：全 4 回（うち 2 回を 2020 年度に開催、残り 2 回は 2021 年度に開催）

##### 【各回の内容】

開催日	テーマ	参加者数
7 月 25 日（日）	明石の 10 年後の環境未来について考える	24 名
8 月 7 日（土）	未来像を実現するために私たち市民にできること	19 名

##### (2) エコウィング明石組織見直しワークショップ開催支援事業

明石市では環境基本計画を推進するパートナーシップ協議会として、エコウィング明石が作られている。しかしながら、発足から 10 年以上が経過した中で、組織の見直しが求められている状況にあった。そこで、明石市環境基本計画市民ワークショップの参加者にも声がけをし、「これからの明石の環境に関するネットワークを考える会」という形で、これからのあり方について検討するワークショップの運営を支援した。

◎テーマ：これからの明石の環境に関するネットワークを考える

◎回数：全 3 回

##### 【各回の内容】

開催日	テーマ
12 月 18 日（土）	新しいネットワーク組織のイメージ・アイデア出し
1 月 22 日（土）	新しいネットワーク組織の具体的な取組内容・組織イメージ
3 月 13 日（日）	新しいネットワーク組織（案）

### 2. 明石市次期総合計画策定に向けた若者とのワークショップ運営業務

策定中の次期総合計画案に対して、明石市に関わる高校生や大学生などの客観的な意見を取りまとめる業務を、明石市 SDGs 推進室より受託した。現状の総合計画の方針を共有した上で、これからの

明石市の理想の姿やそのための取り組みアイデアなどを話し合いながら出し合うワークショップをオンライン上で実施。ワークショップを通じて参加者の明石市や市政への関心を高めるとともに、明石市に対して若者からの提案として意見を取りまとめることができた。

◎テーマ：あかし未来図会議～高校生・大学生が考える明石のこれから～

◎日時：5月29日（土）10:00～12:00

◎参加者数：11名

### 3. 明石にじいろキャンペーン市民向けセミナー運營業務

---

明石市では、SOGIE（性的指向、性自認、性表現）に関わらず、LGBTQ+（性的マイノリティ）を含むすべての市民が自分自身を大切に、自分らしく生き、互いを認め合える「ありのままのまちなまち」の実現を目指してLGBTQ+/SOGIE施策を推進している。その施策の普及推進の一環として「明石にじいろキャンペーン」を実施するにあたり、一般市民のLGBTQ+/SOGIEの理解促進を図ることを目的として、明石市SDGs推進室よりセミナー運營業務を受託した。LGBTQ+当事者の講師を招いて自身の体験や活動を講演していただき、LGBTQ+当事者とテーマに関心のある方が参加する中で質疑応答が行われた。講師からは個人の悩みに寄り添った形での回答があり、参加者の満足度も高く、当事者を力づけるとともにLGBTQ+の理解促進につなげることができた。

◎テーマ：LGBTQ+当事者の体験やYouTuber活動に関する講演を通じて、LGBTQ+の理解促進を図る

◎日時：12月18日（土）14:00～16:00

◎講師：YouTuber かずえちゃん

◎参加者数：会場25名、オンライン30名

### 4. 他自治体の地域自治に関する調査・提案業務

---

#### (1) 南あわじ市自治会活動実態調査

南あわじ市が自治会の組織強化支援を行うにあたり、当法人で自治会活動の実態調査業務を受託した。調査に当たっては全自治会長に対するアンケートと、特性別にピックアップした11自治会に対してヒアリングを行った。分析結果については、全自治会長が集まる地域づくり大交流会で報告するとともに、南あわじ市に対しても地域づくり協議会(地域運営組織に相当)と自治会の補完性や地域交流センターのコーディネート的重要性等、支援に向けたポイントを提案した。

#### ① 自治会に関するアンケートの実施

◎期間：5月12日（水）～5月31日（月）

◎対象者：単位自治会長(203件、回答率100%)

◎内容：運営体制(会長の選任方法、役員の種類・任期)、会費のあり方など

② 自治会長へのヒアリング調査

- ◎期間：5月下旬～7月上旬
- ◎対象者：市内 11 自治会(単位自治会長及びセンター長)
- ◎内容：農村漁村、新興開発地、新旧住民の混住地など特性別にピックアップして訪問

(2) 三木市小規模集落元気度調査意見交換会の実施業務及び市集落対策方針骨子（案）作成業務

三木市が兵庫県の補助金事業で実施する「小規模集落元気度調査」において、意見交換部分と集落対策方針骨子案作成を行う業務を受託した。過疎化・高齢化が進む小規模集落の地域住民や区長に向けて行われた元気度調査結果を分析し、その結果を元に意見交換会を実施。出された意見を元に三木市の今後の集落対策方針案を、三木市に対して検討・提案を行った。

① 小規模集落元気度調査意見交換会の実施

- ◎日時：1月28日（金）19:00～20:30
- ◎参加者：小規模集落元気度調査 調査員、三木市地域まちづくり担当職員 計 15 名
- ◎内容：元気度調査の分析報告、意見交換（分析報告を聞いて、今後の集落対策に必要なこと）

② 市集落対策方針（検討報告書）骨子（案）の作成

- ◎内容：三木市の集落及び対策の状況、元気度調査・意見交換会の実施結果、今後の集落対策の基本的な考え方・事業方針、県への新たな対策提案 など

5. 視察受け入れ、講師派遣等

新型コロナウイルス感染症により、視察受け入れは大幅に減少したが、講師依頼は多数の依頼を受けた。

【視察受け入れ】

受入日	依頼者	受入人数
4月1日(木)	立命館大学（ゼミ生）	6名
5月18日(火)他4回	近畿大学	1名
8月6日(金)	社会福祉法人河内長野市社会福祉協議会	7名
10月23日(土)	長浜市	6名
3月3日(木)	北海学園大学	1名
3月15日(火)	水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶	2名

【講師派遣実績】

内容	派遣日	依頼者	テーマ	派遣者
講師	4月26日(月)	あかねが丘学園	効果的なチラシの作り方①	原裕己

講師	4月28日(水)	南あわじ市 市民協働課	南あわじ市地域づくり懇談会	宮内龍太郎
講師	7月5日(月)	あかねが丘学園	効果的なチラシの作り方②	原裕己
講師	7月11日(日)	南あわじ市 市民協働課	南あわじ市地域づくり大交流会	宮内龍太郎
ファシリテーター	7月25日(日)	株式会社神戸新聞事業社姫路支社	姫路市太市地区意見交換会ファシリテート	木上裕貴
話題提供	7月30日(金)	長浜市	長浜市地域円卓会議の手法を学ぶ研修会	柏木登起
講師	8月2日(月)	あかねが丘学園	発表資料の作り方	原裕己
講師	9月18日(土)	社会福祉法人大阪ボランティア協会・ボランティアリズム研究所	市民セクターが挑む、社会的孤立の抑制・解消への道程	柏木登起
話題提供	10月26日(火)	明石市教育委員会	第3回みんなでラボろう！！	宮内龍太郎
講師	11月12日(金)	加西市	加西市地域担当職員研修会	柏木登起
講師	11月20日(土)	三木市・三木市教育委員会	みきボランタリーフェスタ2021「まちづくりの集い」	木上裕貴
講師	11月20日(土)	京田辺市市民参画課	市民みらいミーティング/まちづくり勉強会	宮内龍太郎
コメンテーター	11月26日(金)	岡山県社会福祉協議会	地域における公益的な取り組みを具体化するプラン作成	四方かおり
話題提供	12月1日(水)	小規模多機能自治推進ネットワーク会議	小規模多機能自治に関する連続オンライン勉強会	木上裕貴
講師	2月16日(水)	公益財団法人淡海文化振興財団	2021年度滋賀県市民活動支援センター研修会	木上裕貴
講師	2月18日(金)	播磨町	播磨町まちづくりに関する研修会	柏木登起
講師	2月26日(土)	認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会	市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会2022 分科会	柏木登起
講師	2月28日(月)	あかねが丘学園	地域デザイン	宮内龍太郎
委員	—	公益財団法人ひょうごコミュニティ財団	輝け加古川みらい基金選考委員	佐伯亮太

<その他の委員派遣> いずれも 2022 年 3 月現在

- ・社会福祉法人明育 評議員 永野 潔
- ・一般社団法人明石観光協会 理事 柏木登起
- ・あかし女性応援ねっと 事務局長 柏木登起

## VI. 法人管理

法人設立から 10 年が経過し、事業も多角化しスタッフ数も増える中で、「明石コミュニティ創造協会とは何者なのか」、「明石コミュニティ創造協会らしさとは何か」を整理していく必要が出てきている。2021 年度は、明石コミュニティ創造協会のブランディングについて、デザイナー等の専門家も交えながら、議論した。2022 年度は、2012 年の設立から 10 年の節目の年でもあることから、法人のパフレッツや名刺等デザイン面も含めて刷新していく予定である。

また、これまで懸案事項であった会計ソフトについて、2021 年度で目処を立てることができ、新たなソフトの導入について具体化することができた。2022 年度からは新規運用を開始することを通じて、会計処理業務の効率化、時間短縮を図りたい。

その他、評議員会、理事会、理事運営会議の運営等はもちろんのこと、スキルアップ評価を通じた人材育成や、労務・登記等各種事務はこれまで通り安定して実施することができた。

具体的な取り組み内容は以下のとおり。

### (1) 法人管理に関する実施内容

- ・ 評議員会・理事会の運営
- ・ 理事運営会議の開催
- ・ 明石コミュニティ創造協会のブランディングの検討
- ・ ビジョン会議等法人の今後の方向性を検討する機会の設置
- ・ スタッフの人材育成及びスキルアップ評価の仕組み、給与評価制度の運用
- ・ 新しい会計ソフト導入による会計処理の効率化の検討
- ・ 会計・税務処理
- ・ 労務処理
- ・ 各種規程の見直し
- ・ 一般事業主行動計画の策定
- ・ 法人情報の開示の徹底
- ・ 法人ホームページ及び SNS の運用

### (2) 人員体制 ※2022 年 3 月 31 日現在

#### 【役員体制】

評議員：石井美弥子、川島幸夫、高岸益子、藤本庸文、宮内正次、門前喜康、山本洋子

理事長：永野潔（常勤理事）

常務理事兼事務局長：柏木登起（常勤理事）

理事：澤井康樹、竹内利江、久隆浩、山下孝光

監事：乗鞍良彦、藤田道広

【スタッフ】

事務局員：市出向職員 5 名、プロパー常勤職員 13 名、パート職員 15 名

(3) 会議体

【評議員会】

第 24 回評議員会（6 月 25 日）：2020 年度事業報告（報告）、2020 年度決算承認（議案）  
理事の選任（議案）

第 25 回評議員会（3 月 29 日）：2022 年度事業計画（報告）、2022 年度暫定予算（4～6 月分）（報告）

【理事会】

第 31 回理事会（6 月 4 日）：2020 年度事業報告、2020 年度決算報告、各種規程類の改定  
第 24 回評議員会の開催

第 32 回理事会（6 月 25 日）：<みなし開催>理事長、常務理事の選定

第 33 回理事会（3 月 16 日）：2022 年度事業計画、2022 年度暫定予算、各種規程の改定等  
第 25 回評議員会の開催、一般事業主行動計画策定  
一般財団法人明石コミュニティ創造協会ブランディング

【その他の会議】

- ・ 理事運営会議（年 1 回開催）
- ・ ビジョン会議（法人の今後の方向性を考えるリーダー以上のメンバーによる会議）年 5 回
- ・ 職員全体会（毎月第 1 月曜に開催）
- ・ その他各チーム別会議等（随時開催）

参考資料：貸室別稼働率一覧

一般財団法人明石コミュニティ創造協会 2021 年度事業報告書

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間稼働率
学習室701	R03	62.3	41.0	52.6	61.7	57.1	53.8	70.4	73.3	77.1	66.0	48.6	58.6	60.2
	R02	24.1	8.3	56.7	63	68.6	59	67.9	72	73.6	54.2	66.0	64.7	61.6
	R01	70.0	71.6	75.6	70.5	71.6	77.3	77.8	81.4	72.9	79.9	88.0	32.7	72.3
	H30	66.7	64.7	73.7	71.8	69.8	82.5	84.0	86.5	62.8	72.9	79.9	78.4	74.5
学習室702	R03	50.6	51.3	66.7	79.0	57.7	56.4	84.0	73.3	79.2	63.9	61.1	54.3	64.8
	R02	44.4	4.2	56.0	60.5	66.7	73.1	75.3	72.0	68.1	54.2	68.1	61.5	63.1
	R01	82.7	70.4	82.1	78.2	75.3	84.0	80.2	83.3	83.3	73.6	86.7	50.0	77.4
	H30	69.2	74.4	91.0	75.6	70.4	81.3	87.2	84.6	71.8	84.7	88.9	79.0	79.8
学習室703	R03	53.2	39.7	39.7	63.0	53.8	47.4	82.7	70.7	72.2	63.9	52.8	59.3	58.2
	R02	61.9	12.5	37.3	39.5	55.1	65.4	60.5	64.0	65.3	54.2	47.8	57.7	53.6
	R01	67.1	61.7	80.8	74.4	71.6	86.7	75.3	79.5	76.4	75.0	80.0	29.5	71.4
	H30	56.5	70.5	82.1	71.8	70.4	79.5	85.9	82.1	74.4	79.2	83.3	74.1	75.8
学習室704	R03	44.2	36.5	51.9	65.4	50.0	53.8	71.0	75.3	70.1	66.7	62.5	70.3	59.8
	R02	28.0	37.5	34.7	54.9	53.8	65.4	64.2	70.0	70.1	59.7	59.0	61.5	56.8
	R01	63.5	59.3	72.4	66.9	58.6	76.0	69.8	78.8	60.6	65.7	73.3	16.7	63.4
	H30	57.9	54.5	80.1	69.9	64.8	78.9	80.1	82.7	66.7	72.9	72.6	69.8	70.9
学習室801	R03	60.9	50.0	49.4	69.1	67.3	67.9	79.6	83.3	79.2	68.1	67.4	72.2	67.9
	R02	33.3	16.7	58.7	66.0	60.3	73.7	65.4	75.3	63.9	58.3	63.6	71.8	63.3
	R01	77.4	67.9	83.3	69.5	76.5	88.0	79.0	87.2	76.4	72.0	85.3	34.0	74.6
	H30	75.3	64.1	84.6	76.9	67.3	88.7	89.1	93.6	76.9	76.1	77.1	82.6	79.4
学習室802	R03	59.0	46.2	47.4	56.8	43.6	46.2	79.0	78.7	65.3	61.1	58.3	66.7	59.0
	R02	40.7	4.2	38.7	48.1	44.9	67.9	63.0	60.0	55.6	54.2	52.2	48.7	51.5
	R01	64.0	65.4	75.6	70.5	58.0	70.7	65.4	83.3	63.9	55.6	78.7	36.4	65.7
	H30	56.4	61.5	65.4	69.2	64.2	75.7	74.4	79.5	75.0	56.4	77.8	61.7	68.1
学習室803	R03	53.3	25.6	57.7	56.8	53.8	44.9	65.4	78.7	68.1	58.3	63.9	63.0	57.5
	R02	37.5	4.2	52.0	51.9	51.3	59.0	67.9	61.3	63.9	58.3	48.6	46.2	54.0
	R01	56.2	55.6	69.2	69.2	72.8	74.7	69.1	82.1	73.6	64.8	74.7	30.8	66.0
	H30	52.6	48.7	62.8	66.7	58.0	65.3	74.4	79.5	65.3	64.1	79.2	70.4	65.6
学習室804	R03	69.2	60.3	71.8	70.4	74.4	71.8	84.0	78.7	90.3	80.6	65.3	70.4	73.9
	R02	40.7	16.7	66.7	72.8	69.2	75.6	75.3	74.7	76.4	69.4	62.5	79.5	69.6
	R01	82.7	88.9	87.2	89.7	74.1	89.3	88.9	88.5	84.7	88.9	86.7	60.3	84.1
	H30	92.3	83.3	93.6	80.8	87.7	85.1	92.3	88.5	84.7	76.9	86.1	90.1	86.8
学習室805	R03	42.3	50.0	61.5	55.6	57.7	56.4	71.6	61.3	81.9	65.3	59.7	55.6	59.9
	R02	40.7	8.3	50.7	56.8	48.7	47.4	64.2	57.3	56.9	56.9	55.6	64.1	54.0
	R01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調理実習室	R03	5.1	9.0	10.3	27.2	12.8	17.9	24.7	40.0	42.0	27.8	27.8	18.5	21.9
	R02	7.4	0.0	5.3	22.2	11.5	9.0	29.6	33.3	16.4	15.3	8.3	19.2	16.3
	R01	21.3	32.1	41.0	39.7	33.8	38.7	53.1	58.4	41.2	26.4	60.0	12.8	38.2
	H30	28.8	30.8	34.6	38.5	29.6	40.3	43.6	50.0	53.6	38.5	48.6	36.3	39.4
和室	R03	44.9	38.5	42.3	35.8	30.8	29.5	49.4	49.3	48.6	48.6	44.4	43.2	42.1
	R02	14.8	4.2	38.7	38.3	39.7	46.2	50.6	50.7	41.7	36.1	31.9	48.7	40.3
	R01	62.7	51.9	62.8	64.1	51.9	69.3	67.9	74.4	56.9	75.0	73.3	32.1	61.7
	H30	48.7	55.1	59.0	55.1	35.8	65.2	74.4	66.7	59.7	61.5	75.0	64.2	60.0
子午線ホール	R03	34.8	12.8	43.4	59.3	34.6	24.4	56.2	66.2	58.0	50.8	64.3	45.8	45.9
	R02	8.3	0.0	2.7	10.1	12.8	28.2	53.3	55.4	41.7	15.3	51.9	33.3	27.2
	R01	50.0	33.3	65.3	67.9	63.0	50.0	68.9	73.1	58.0	48.6	66.7	11.0	54.8
	H30	43.2	51.3	65.8	67.9	54.3	62.9	65.8	71.4	54.4	47.2	49.3	51.9	57.1
リハーサルスタジオ	R03	36.5	25.6	29.5	44.4	29.5	44.9	45.7	58.7	41.7	40.3	37.5	34.6	39.1
	R02	20.8	0.0	13.3	25.9	20.5	28.2	33.3	45.3	34.7	22.2	27.8	23.1	26.4
	R01	39.7	42.0	42.3	41.6	58.0	48.0	55.6	67.9	41.7	54.2	54.7	32.9	48.4
	H30	36.8	50.0	52.6	44.9	43.2	54.2	67.9	64.1	55.6	54.2	45.8	48.1	51.5
音楽練習室1	R03	51.3	52.6	47.4	53.1	52.6	70.5	77.8	57.3	59.7	68.1	56.9	46.9	57.9
	R02	51.9	12.5	42.7	66.7	52.6	48.7	61.7	65.3	56.9	59.7	54.2	61.5	55.6
	R01	70.7	70.4	73.1	69.2	77.8	84.0	84.0	84.6	81.9	86.1	88.0	57.7	77.2
	H30	75.6	70.5	79.5	75.6	77.8	88.9	85.9	88.5	79.2	81.9	69.4	74.1	78.9
音楽練習室2	R03	24.4	37.2	28.2	34.6	26.9	35.9	35.8	45.3	31.9	27.8	11.1	19.8	29.9
	R02	3.7	4.2	20.0	29.6	26.9	30.8	28.4	36.0	22.2	26.4	26.4	35.9	26.8
	R01	46.7	43.2	38.5	43.6	49.4	61.3	65.0	65.4	58.3	54.2	64.0	29.5	51.5
	H30	46.2	34.6	41.0	39.7	60.5	74.6	66.7	56.4	48.6	58.3	50.0	54.3	52.6
ウィズあかし 全室平均	R03	47.8	39.1	47.4	54.5	48.7	49.9	66.6	67.9	66.3	58.8	53.1	54.6	54.6
	R02	29.3	7.6	39.6	49.5	48.1	54.2	58.8	61.7	56.5	48.1	50.6	54.2	50.2
	R01	62.7	59.5	69.5	66.0	64.7	72.9	72.2	78.6	67.2	66.9	76.9	32.4	65.7
	H30	60.4	58.7	70.8	66.1	62.1	74.9	77.9	78.6	66.0	68.5	71.4	68.6	68.7